

# 料金規制

松島格也

[kakuya@psa2.kuciv.kyoto-u.ac.jp](mailto:kakuya@psa2.kuciv.kyoto-u.ac.jp)

Rm.420

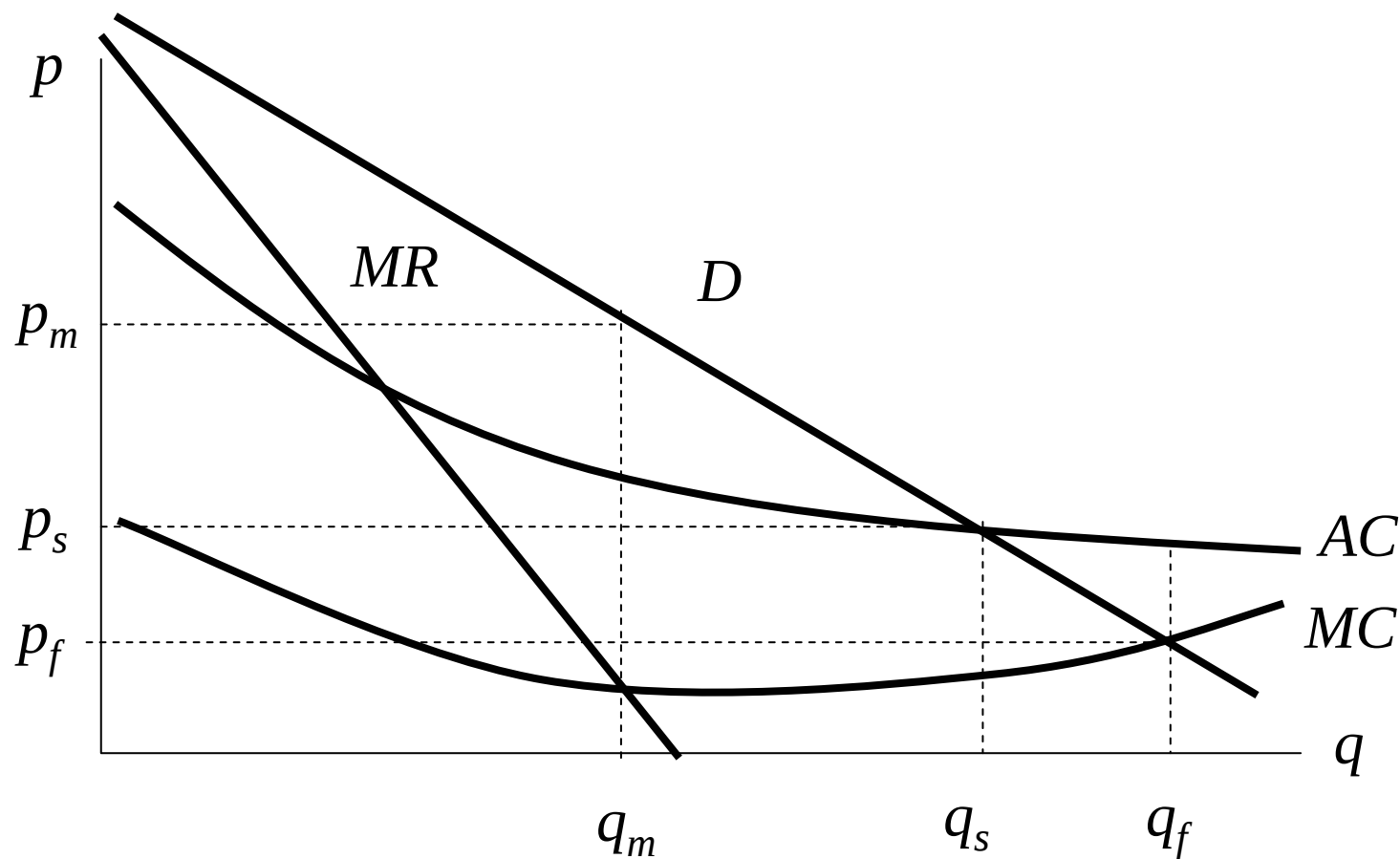
# 料金設定の目標

- 資源配分効率の達成
  - 企業内部効率の確保
  - 所得再配分の回避
  - 経営財務安定化の確保
- 
- 料金体系の単純性
  - 低所得者・老人・身体障害者の保護
  - 競争環境の反映

# 料金水準の決定方式

- 限界費用料金
- 平均費用料金
- 独占費用料金

# 自然独占下(費用逕減産業)の価格形成(復習)



# 料金算定方式

- 料金算定期間を定める
- 事業計画を規制当局が審査し、適正と判断する  
事業計画を容認する
- 総費用を算出する
- 予想事業費用を算出する
- **事業報酬を算出**する
- 総括原価(予想事業費用+事業報酬)を算出する
- 需要量を予測し、1単位あたりの料金を算出する

# (公正)報酬率規制

- レートベース方式
  - 事業資産に公正報酬率(投下資本に対して長期利子率を乗じた額)を乗じて事業報酬額を算出
  - 企業の経営努力を行うインセンティブに問題あり
- (参考)積み上げ方式
  - 料金算定期間直前の資本と負債の構成および額を前提として、それぞれに必要な事業報酬を算定し、これを加算する
  - 資金調達の効率化する誘因を企業に与えない

# Averch Johnson Model

- 1財のみ生産する企業:生産量 $Q$
- 資本 $K$ と労働 $L$ により生産: $f(K,L)$
- 利子率 $r$ , 賃金率 $w$

# 最適規制メカニズム

- 産出高連動型の報酬率規制
- 売上高連動型の報酬率規制
- 費用連動型の報酬率規制
- 価格差別